

平成23年度  
(平成22年度分)

# 事務事業評価票

A 一般型

No. 1002013

通常評価

## I 事業の概要

### I-1 事業の概要

事務事業名	コミュニティ回収	所管局部課等	環境政策局循環型社会推進部ま ち美化推進課
ホームページアドレス	<a href="http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html">http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000016745.html</a>	(連絡先)	213-4960
		(評価票作成者)	まち美化推進課長 鈴木隆志

22決算額 (千円)	23予算額 (千円)	今後の方向性	24予算額 (千円)	目標達成度評価
37,345	41,200	現状のまま継続	43,400	指標：回収実施団体数
業務運営方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 部分委託 <input checked="" type="checkbox"/> 部分補助等 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 全部補助等				かなり悪い   悪い   普通   良い   かなり 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% 110% 120% H20年度 H21年度 H22年度
実施根拠 (法令, 条例, 規則, 要綱等)		京都市循環型社会推進基本計画 (2009-2020)		事務事業の 性格 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的事業 類型 11 その他
開始時期	平成 16 年度	終了(予定)時期	平成 年度	会計区分 <input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計

事業概要	対象	(誰を, 何を) 概ね20世帯以上により構成される住民団体
	活動内容	(どのような手段で) それぞれの地域団体等が行う古紙類(新聞紙, 雑誌, 段ボール, 雑がみ)や古布などの資源物の自主的な回収の支援を行う。
	目的	(どのような状態にしたいのか) コミュニティ回収を通じて, 家庭ごみの減量化や資源の分別・リサイクル機会の拡大を図るとともに, 地域のつながりや連帯感を深め, 地域コミュニティの活性化にもつなげる。

### I-2 投入量

年間経費等推移 (千円)	No.	区分	H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算
	①	事業費 (千円)	26,545	32,669	37,345	41,200	43,400
		負担金補助及び交付金	19,897	24,160	26,775	29,715	31,440
		需用費	228	247	350	531	315
		報酬	5,206	6,254	7,727	8,225	8,753
		その他(共済費, 賃金, 通信運搬費, 使用料及び賃借料)	1,214	2,008	2,493	2,729	2,892
	①' 委託料						
	②	委託料が事業費に占める割合(①' ÷ ①) (%)					
	③	人件費(24年度は見込) (千円)	11,941	11,408	11,138	11,138	11,186
		職員(課長級) (人)	0.18	0.11	0.11	0.11	0.11
		職員(課長補佐級, 係長級) (人)	0.24	0.29	0.29	0.29	0.29
職員(係員) (人)		0.85	0.85	0.85	0.85	0.85	
		嘱託職員等人件費 (千円)					
④	年間経費(①+③) (千円)	38,486	44,077	48,483	52,338	54,586	
⑤	特定財源(市税等の一般財源以外) (千円)		32,669	37,345	41,200	43,400	
	国庫・府支出金 (千円)						
	受益者負担分(使用料, 手数料等) (千円)						
		その他(基金繰入金) (千円)		32,669	37,345	41,200	43,400
⑥	京都市年間負担経費(④-⑤) (千円)	38,486	11,408	11,138	11,138	11,186	
⑦	受益者負担率(受益者負担分÷④) (%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

II 評価結果

事業名 コミュニティ回収

II-2 業績評価 (II-1 市民と行政の役割分担評価は「通常評価」のため省略)

A 目標達成度	指標名	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
指標1	回収実施団体数	目標値 …①	団体数	1,500	1,700	1,900	2,100	2,100
		実績値 …②	団体数	1,499	1,750	1,856		
		目標達成度 (②÷①)	%	99.9%	102.9%	97.7%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	良い	かなり良い	良い		
指標2	古紙の回収量	目標値 …①	t	15,000	17,000	19,000	21,000	24,300
		実績値 …②	t	15,981	16,072	17,169		
		目標達成度 (②÷①)	%	106.5%	94.5%	90.4%		
	指標の種類	増加することが良いとされる指標	評価	かなり良い	良い	良い		
			総合評価	良い	良い	良い		

指標の選択理由		目標値設定の考え方	
指標1	資源の分別及びリサイクル機会の拡大とともに、地域コミュニティの活性化を図るため、実施団体数を指標とする。	未来まちづくりプランの年次計画に掲げる実施団体数の目標値(平成23年度までに2,100団体)を引き続き目標値とした。	
指標2	資源の分別及びリサイクル機会の拡大とともに、地域コミュニティの活性化を図るため、古紙の回収量を指標とする。	ごみ半減アクションプランに掲げる回収量の目標値(平成27年度31,400t)を残りの年数で按分して、目標値とした。	
分析	<実績値の変動理由等> エコまちステーションによる新規登録の普及啓発を行っている一方、既存団体の後継者不足による登録辞退が目立ち、回収実施団体は伸び悩んでいる。		

B 効率性	No.	区分	単位	H20年度	H21年度	H22年度
	①	古紙の回収量	t	15,981	16,072	17,169
	②	年間経費(事業費及び人件費の合計額)	千円	38,486	44,077	48,483
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,408	2,742	2,824
	④	単位当たり経費変動率			+13.9%	+3.0%
			評価	かなり悪くなった	悪くなった	
分析	<コスト変動の理由等> 平成21年度と比べ、平成22年度の経費が増加したため効率性が悪くなった。					

C 市民参加度	企画段階	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 無	<現状分析、今後の方針等> 今後、コミュニティ回収の登録団体を拡大し、市民の参加度を高めていく。
	実施段階	<input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input type="checkbox"/> 無	
	評価段階	<input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
D 市民満足度	<調査の有無> <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 該当しない		<調査結果、現状分析等> 助成制度の申請書類等の事務手続きが、煩雑であり、市民との調整に相当の期間を要する事例が発生しており、改善する必要がある。
	<調査方法>	<調査時期>	
E 環境保全及び環境負荷軽減の要素	<input checked="" type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 関連 <input type="checkbox"/> 一般		<現状分析、今後の方針等> 資源の有効利用とごみ減量の効果が期待できる。

平成23年度の実施状況 回収実施団体の登録を2,100団体とする目標に向けて、200団体の募集を行い、1,970団体の登録を達成した(平成23年12月末現在)。

市会・監査・外部機関等からの指摘 平成20年12月の普通決算特別委員会において、「コミュニティ回収制度について、登録団体の増加のみを目標としないようにしていただきたい。」との指摘があった。

III 今後の方向性

現状のまま継続 (今後の方向性の理由及び具体的な内容)  
エコまちステーションによる地域への啓発、パンフレットやホームページ、市民しんぶんによる広報の他、地域ごみ減量推進会議をはじめとする各地域団体と連携するなど、あらゆる機会を捉えてコミュニティ回収制度の周知を行い、今後も引き続き実施団体の拡大及び古紙回収量の増加を図る。また、燃やすごみのうち、減量に必要不可欠な紙ごみの約4割を占める雑がみについて、分別の周知・啓発を徹底し、更なる古紙回収量の増加を図る。